

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市若松区浜町一丁目4番7号

団体名 若築建設株式会社 北九州営業所

代表者 所長 瀬戸口 常秋

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	わかちくけんせつかぶしきがいしゃ きたきゅうしゅうえいぎょうしょ	
団体名	若築建設株式会社 北九州営業所	
(ふりがな)	しょちょう せとぐち つねあき	
代表者氏名	所長 瀬戸口 常秋	
所在地	市内事業所	北九州市若松区 浜町一丁目4番7号
	主たる事業所	同上
事業概要	建設事業（海上土木、陸上土木、建築）	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="https://www.wakachiku.co.jp/">https://www.wakachiku.co.jp/</a>	

































## 連絡先

担当部署	北九州営業所
担当者	権藤与志史
電話番号	093-761-1331
メールアドレス	<a href="mailto:yoshifumi.gondou@wakachiku.co.jp">yoshifumi.gondou@wakachiku.co.jp</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット	具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組		
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)		 7.2	 9.4	 13.3	低炭素燃料の活用 (施工段階におけるCO2排出量測定を実施、波渡橋に、グラフ巻き上げ時に発生するエネルギーを電気エネルギーに変換する再生エネルギーを活用したグラフ波渡船「若葉丸」、特種時の陸電および太陽光発電の利用)	ゴール ゴール7 ターゲット 7.2	指標 経済(1)① 具体的な取組 環境(1)ア
				7.2	9.4	13.3	ゴール ゴール9 ターゲット 9.4	指標 環境(2)② 具体的な取組 環境(2)イ	
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)		 9.4	 12.3、12.5	 13.3	工事で発生するCO2は排出量削減に貢献し、低炭素社会を目指します。 (建設汚土の再資源化等率97%、建設発生土の有効利用率63%、再生砕石の利用、リサイクルガラス道敷砂の利用)	ゴール ターゲット 9.4	指標 環境(2)② 具体的な取組 環境(2)イ
				9.4	12.3、12.5	13.3	ゴール ゴール14 ターゲット 14.2	指標 経済(2)④ 具体的な取組 環境(1)ア	
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)		 10.2	 12.2	 13.3	海洋土木工事のスペシャリストとして、海洋環境に負荷をかけない技術の開発と活用に尽力します。 (天然ガスを原料に精製されたGTL燃料の活用、FCVの導入、フードバンク活用による食品ロス対策、フェアトレードの活用)	ゴール ターゲット 14.2	指標 経済(2)④ 具体的な取組 環境(1)ア
				10.2	12.2	13.3	ゴール ゴール9 ターゲット 9.1	指標 経済(1)ア 具体的な取組	
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)		 8.2	 9.5	 12.5	高い品質と安全を確保し、全てのお客様の満足度を向上します。 (水中ジャイロおよび水中遠隔操作装置の開発、A1クレーンカメラ人物検知システムの開発)	ゴール ターゲット 9.1	指標 経済(1)ア 具体的な取組
				8.2	9.5	12.5	ゴール ゴール7 ターゲット 7.1	指標 経済(1)① 具体的な取組 環境(1)ア	
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)		 7.2	 9.4	 13.3	低炭素社会の実現につながる風力・バイオマス発電など、社会インフラ整備を担います。	ゴール ターゲット 7.1	指標 経済(1)① 具体的な取組 環境(1)ア
				7.2	9.4	13.3	ゴール ゴール3 ターゲット 3.d	指標 社会(1)イ 具体的な取組	
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)		 3.4	 5.5	 8.8	ICTと連携を図り、生産性向上と時短推進を図り、「働き方改革」を進めていくことで、働き甲斐のある職場環境の実現を目指します。(多様な働き方に対応し、テレワーク可能な環境を整備し、また年齢・性別にかかわらず、各々の生活に合わせた勤務形態を選択することもできます)	ゴール ターゲット 3.d	指標 社会(1)イ 具体的な取組
				3.4	5.5	8.8	ゴール ゴール5 ターゲット 5.b	指標 経済(1)② 具体的な取組 経済(3)イ	
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)		 5.5	 8.5、8.8	 10.2	ジェンダーに関係なく働くことができるために、ICTを始めとする技術の活用を強化します。 (くろみん認定、外国人技術者の採用、「けんせつ小町活躍推進表彰」特別賞を受賞)	ゴール ターゲット 5.b	指標 経済(1)② 具体的な取組 経済(3)イ
				5.5	8.5、8.8	10.2	ゴール ターゲット 8.8	指標 社会(4)イ 具体的な取組	
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)		 5.1、5.4	 8.8		持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得します。 (Web形式によるハラスメント講習を全従業員に実施)	ゴール ターゲット 8.8	指標 社会(1)③ 具体的な取組 社会(4)イ
				5.1、5.4	8.8		ゴール ターゲット 8.5	指標 経済(2)③ 具体的な取組 経済(2)ア	
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)		 3.4	 8.8		全ての従業員が健康で安全に働けるような職場環境を整えます。 (Web形式によるストレスチェックを全従業員に実施、メンタルヘルズ相談窓口の開設)	ゴール ターゲット 8.5	指標 経済(2)③ 具体的な取組 経済(2)ア
				3.4	8.8		ゴール ターゲット 4.4	指標 社会(1)③ 具体的な取組 社会(4)イ	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)		 4.4	 8.2、8.6	 17.17	持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得します。 (わかつく社員教育研修制度「はくぐみ」プロジェクト設立：新入社員研修、フォローアップ研修、リーダー研修、マネージメント研修、考課者研修etc)	ゴール ターゲット 4.4	指標 社会(1)③ 具体的な取組 社会(4)イ
				4.4	8.2、8.6	17.17	ゴール ターゲット 16.1、16.3、16.5	具体的な取組	
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録	 16.1、16.3、16.5				ターゲット 16.1、16.3、16.5	具体的な取組
				16.1、16.3、16.5					
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)		 11.b	 12.6	 13.1	法令順守の徹底や高い倫理観をもって、企業の社会的使命をはたしていきます。 (SDGsの担当部署を北九州営業所とし、災害時の緊急連絡訓練とともに、北九州市若松区内に災害が発生し、若松区民への食料等の供給が困難となった場合に、当社が備蓄する非常用食料品等の提供を円滑に行う為、北九州市若松区役所と提供協定を締結している。)	ゴール ターゲット 13.1	指標 社会(2)ア 具体的な取組
				11.b	12.6	13.1	ゴール ターゲット 13.1	指標 社会(2)ア 具体的な取組	

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的価値)を創出すること。

## SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年12月14日  
 団体名 若築建設株式会社 北九州営業所

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

## ◆ SDGs達成に向けた取組方針等

建設業の活動は多岐にわたっており、SDGs 17のゴールと深い関りを有しています。若築建設は創業以来130年にわたり、社会資本の整備や地域の方々との交流を通じて、地域や社会の発展に貢献してきました。今後も、国際社会の一員として持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、より国際社会の実現に貢献・尽力していきます。

## ◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標（KPI） ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	洋上風力発電への積極的な検討、これまでの再生可能エネルギー事業の実績と経験を活かして、当社の技術力のアピール強化等	指標（KPI）	再生可能エネルギー関連施設の建設に携わる	指標
社会	○		目標値		経済（1）①
環境	○		2030年 (その他の場合) ( )年	年間発電量総計100億kWh (出力100万kW級の原子力発電1基相当分)	具体的な取組 経済（1）ア
経済	○	施工管理システムなどによる作業効率の向上、高省燃費型の建設機械・作業船の利用推進、建設汚泥の固化処理技術の開発と場内利用推進による土砂運搬土量の削減、機械の点検整備・省エネ運転・アイドリングストップなどの励行等	指標（KPI）	施工段階におけるCO2排出量	指標
社会	○		目標値		経済（2）④
環境	○		2030年 (その他の場合) ( )年	30%削減 (1990年度比)	具体的な取組 環境（1）ア
経済	○	ICTと連携を図り、生産性向上と時短推進を図り、「働き方改革」を進めていくことで、働き甲斐のある職場環境の実現を目指します。（多様な働き方に対応し、テレワーク可能な環境を整備し、また年齢・性別にかかわらず、各々の生活に合わせた勤務形態を選択することもできます）	指標（KPI）	2030年までに作業生産性を20%UPさせる技術開発件数	指標
社会	○		目標値		具体的な取組
環境	○		2030年 (その他の場合) ( )年	5件以上 (2018年度比)	社会（3）ア

## 記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

## 地域課題への取組み

団 体 名 若築建設株式会社 北九州営業所

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
22 海外水ビジネス推進協議会	当会の会員企業であり、建設事業者として、海外案件への取組みや協議会主催の勉強会・セミナーに積極的に参加している。
99 その他（市と連携した取組み）	災害時における備蓄食料品等の提供協力に関する協定を北九州市若松区役所と結び、災害発生時の避難生活の支援を図るために備蓄食料品を保管管理している。
99 その他（市と連携した取組み）	北九州市消防局が推進する「おたすけAED事業」への協力として、AED等の応急手当資器材の整備をしている。

### 記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。